



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月14日
上場取引所 札

上場会社名 日本グランデ株式会社
 コード番号 2976 URL https://www.nippon-grande.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 平野 雅博
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 矢代 俊二 (TEL) 011-211-8124
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	1,794	△10.8	△8	—	△24	—	14	—
2022年3月期第3四半期	2,011	143.0	△87	—	△95	—	△50	—

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 14百万円(—%) 2022年3月期第3四半期 △50百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	11.37	10.93
2022年3月期第3四半期	△40.26	—

(注) 2022年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	8,700	1,814	20.9
2022年3月期	8,263	1,813	21.9

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 1,814百万円 2022年3月期 1,813百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,340	14.5	186	24.5	152	6.7	100	△19.3	76.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 - 社(社名) 、除外 - 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期3Q	1,300,100株	2022年3月期	1,300,100株
2023年3月期3Q	一株	2022年3月期	一株
2023年3月期3Q	1,300,100株	2022年3月期3Q	1,247,633株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症再拡大の影響が残る中、感染拡大防止と行動制限の解除等、社会経済活動の両立を図り、ウィズコロナに向けたあらたな段階に移行を進め、景気回復の動きが見られました。一方で、原材料価格やエネルギー価格の高騰、円安等の為替変動、物価上昇など景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが属する不動産業界におきましては、札幌市の新築分譲マンション市場は、用地代や建築資材価格等建築コストの上昇により、マンション販売価格の上昇が続いておりますが、住宅ローンの低金利、住宅取得支援政策の継続等により、都心部を中心に販売エリアがその周辺部へと広がりを見せ、マンション販売が好調に推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは、引き続き人や環境にやさしいエコロジー仕様・省エネ設計、環境負荷削減と環境品質・性能の向上、環境への影響に配慮した事業活動やマンション開発に取り組んでまいりました。

当社グループの主力事業であります不動産分譲事業におきましては、当第3四半期連結累計期間において、新築では分譲マンション25戸、前期繰越在庫では分譲マンション2.5戸の引渡となり、総引渡戸数は27.5戸(前年同期比20.5戸減)となりました。なお、第4四半期連結会計期間における新築分譲マンションは、2物件の竣工・引渡を予定しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,794,338千円(前年同期比10.8%減)、営業損失は8,168千円(前年同期は87,302千円の営業損失)、経常損失は24,121千円(前年同期は95,453千円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は14,779千円(前年同期は50,233千円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

(不動産分譲事業)

当第3四半期連結累計期間における分譲マンション事業におきましては、新築分譲マンション1棟「グランファアーレ桑園パークサイド」を竣工し25戸の引渡を完了したほか、前期繰越在庫2.5戸の引渡を含めた27.5戸(前年同期比12.5戸減)の引渡を行っております。また、第4四半期連結会計期間に竣工予定の「グランファアーレ月寒中央ロワイヤル」及び「グランファアーレ東札幌プレイスコート」につきましては、販売を継続しております。なお、前期繰越在庫につきましては、完売しております。

分譲戸建住宅事業におきましては、前期繰越在庫及び竣工した新築分譲戸建住宅がないため、引渡はありません(前年同期比8戸減)。

当第3四半期連結累計期間における分譲マンション及び分譲戸建住宅の引渡戸数は27.5戸(前年同期比20.5戸減)、売上高は1,048,637千円(前年同期比28.0%減)となりました。主な減少の要因は、分譲マンション及び分譲戸建住宅の繰越在庫の引渡が、前第3四半期連結累計期間と比較して減少しているためであります。

その他の売上高は243,222千円(前年同期比453.0%増)となりました。主な増加の要因は、第2四半期連結会計期間において、販売用不動産(土地)を売却したためであります。

この結果、不動産分譲事業の売上高は1,291,859千円(前年同期比13.9%減)となり、セグメント利益は5,930千円(前年同期は85,530千円のセグメント損失)となりました。

(不動産賃貸事業)

当第3四半期連結累計期間におけるサービス付き高齢者向け住宅事業におきましては、賃貸料収入は233,128千円(前年同期比1.1%減)となりました。

収益不動産の賃貸事業におきましては、賃貸料収入は51,495千円(前年同期比12.2%増)となりました。

その他として、サービス付き高齢者向け住宅支援サービス事業等による売上高は111,508千円(前年同期比3.0%減)となりました。

この結果、不動産賃貸事業の売上高は396,132千円(前年同期比0.1%減)となり、セグメント利益は132,973千円(前年同期比14.8%減)になりました。セグメント利益率につきましては33.6%(前年同期比5.7ポイント減)となりました。

(不動産関連事業)

当第3四半期連結累計期間におけるマンション管理事業におきましては、分譲マンションの管理棟数が増加したこと等により、売上高は84,104千円(前年同期比5.5%増)となりました。

その他の売上高は、22,241千円(前年同期比34.5%減)となりました。

この結果、不動産関連事業の売上高は106,346千円(前年同期比6.4%減)となり、セグメント利益は26,805千円(前年同期比0.9%増)となりました。セグメント利益率につきましては25.2%(前年同期比1.8ポイント増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて437,064千円増加し、8,700,869千円となりました。このうち流動資産は、前連結会計年度末に比べて485,638千円増加し、5,511,757千円となり、固定資産は、前連結会計年度末に比べて48,573千円減少し、3,189,111千円となりました。流動資産の主な増加の要因は、仕掛販売用不動産の増加1,627,648千円及び未収入金の増加11,778千円、未収消費税等の増加55,483千円であり、主な減少の要因は、現金及び預金の減少1,128,350千円、売掛金及び契約資産の減少20,163千円、販売用不動産の減少49,425千円、立替金の減少13,091千円であります。固定資産の主な増加の要因は、投資有価証券の増加14,433千円であり、主な減少の要因は、有形固定資産の減少59,490千円であります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて435,724千円増加し、6,886,045千円となりました。このうち流動負債は、前連結会計年度末に比べて595,270千円増加し、4,318,923千円となり、固定負債は、前連結会計年度末に比べて159,545千円減少し、2,567,122千円となりました。流動負債の主な増加の要因は、買掛金及び工事未払金の増加204,992千円及び短期借入金の増加1,162,700千円、契約負債の増加103,518千円であります。主な減少の要因は、1年内返済予定の長期借入金の減少152,521千円及び預り金の減少601,708千円、未払金の減少6,237千円、未払消費税等の減少111,530千円であります。固定負債の主な減少の要因は、長期借入金の減少142,273千円及び繰延税金負債の減少12,064千円であります。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,339千円増加し、1,814,824千円となりました。主な増加の要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が14,779千円増加したこと等あります。主な減少の要因は、配当金の支払いにより利益剰余金が13,001千円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、「2022年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」(2022年5月13日)で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,070,846	1,942,496
売掛金及び契約資産	47,962	27,799
販売用不動産	83,451	34,026
仕掛販売用不動産	1,736,279	3,363,928
その他の棚卸資産	3,143	4,934
その他	84,435	138,573
流動資産合計	5,026,119	5,511,757
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,410,585	2,344,426
土地	775,139	775,139
その他（純額）	8,814	15,482
有形固定資産合計	3,194,538	3,135,047
無形固定資産	4,145	3,318
投資その他の資産	39,001	50,744
固定資産合計	3,237,685	3,189,111
資産合計	8,263,804	8,700,869

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金及び工事未払金	1,208,252	1,413,245
短期借入金	1,193,300	2,356,000
1年内返済予定の長期借入金	343,032	190,511
未払法人税等	19,892	18,765
賞与引当金	4,080	1,182
株主優待引当金	1,745	—
預り金	668,525	66,816
その他	284,823	272,401
流動負債合計	3,723,653	4,318,923
固定負債		
長期借入金	2,620,007	2,477,734
その他	106,660	89,388
固定負債合計	2,726,667	2,567,122
負債合計	6,450,320	6,886,045
純資産の部		
株主資本		
資本金	175,766	175,766
資本剰余金	75,766	75,766
利益剰余金	1,562,167	1,563,945
株主資本合計	1,813,699	1,815,477
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△214	△653
その他の包括利益累計額合計	△214	△653
純資産合計	1,813,484	1,814,824
負債純資産合計	8,263,804	8,700,869

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	2,011,141	1,794,338
売上原価	1,660,372	1,385,610
売上総利益	350,769	408,727
販売費及び一般管理費	438,071	416,896
営業損失(△)	△87,302	△8,168
営業外収益		
受取利息及び配当金	56	71
受取手数料	1,874	932
金利スワップ評価益	1,835	2,238
違約金収入	327	6,049
補助金収入	1,451	1,333
保険解約返戻金	5,946	—
その他	5,106	1,497
営業外収益合計	16,598	12,122
営業外費用		
支払利息	24,168	27,766
その他	580	309
営業外費用合計	24,749	28,075
経常損失(△)	△95,453	△24,121
特別利益		
固定資産売却益	—	841
保険解約返戻金	—	47,685
役員退職慰労引当金戻入額	23,698	—
特別利益合計	23,698	48,527
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△71,754	24,405
法人税等	△21,520	9,626
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△50,233	14,779
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△50,233	14,779

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△50,233	14,779
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△111	△438
その他の包括利益合計	△111	△438
四半期包括利益	△50,344	14,340
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△50,344	14,340

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	不動産 分譲事業	不動産 賃貸事業	不動産 関連事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	1,500,924	396,580	113,636	2,011,141	—	2,011,141
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	13,053	13,053	△13,053	—
計	1,500,924	396,580	126,689	2,024,194	△13,053	2,011,141
セグメント利益又は損失(△)	△85,530	156,016	26,571	97,056	△184,359	△87,302

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△184,359千円には、セグメント間取引消去△13,053千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△171,305千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	不動産 分譲事業	不動産 賃貸事業	不動産 関連事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	1,291,859	396,132	106,346	1,794,338	—	1,794,338
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	11,352	11,352	△11,352	—
計	1,291,859	396,132	117,698	1,805,691	△11,352	1,794,338
セグメント利益又は損失(△)	5,930	132,973	26,805	165,709	△173,877	△8,168

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△173,877千円には、セグメント間取引消去△11,352千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△162,525千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。